

162	いつも笑顔で優しくご挨拶していただいています。	163	日々たくさんのよい子たちに囲まれています	164	どんなときのどんな絵にも、必ずと言っていいほど虹を描いていた子。絵を描くのが大好きで、大きくなった今も、想像力あふれるとっても素敵な絵を描き続けています。	165	一緒に作品を作り、卒業しても覚えていてくれる特別支援学級の生徒たち
166	院内学級の児童が、入院生活を嘆いて泣く児童に、「わかるわかる。俺も辛いねん。」とかばい合ようにみんなで、泣く場面があり、子どもは子どもの社会で育まれると思ったこと。	167	楽しそうに過ごしている、みんなが心に残っています	168	教員1年目に出会った子ども達は今でも忘れないです。	169	教師の名前の頭文字を言えば教師の名前を言うことができる生徒がいました。縁があり1年半一緒に過ごすことができました。残り1ヶ月頃より、頭文字を言わなくても私の名前を言うことができるようになってきました。私がこの職種を選んだきっかけを作ってくれた生徒です。
170	勉強もクラブ活動も良く頑張っ自分の人生を切り開いた生徒です	171	初めはひらがなが読めなかった子がひらがなもカタカナも漢字も読めるようになり、「俺、本読めるようになってん！」と嬉しそうに言ってくれたこと。	172	卒業式で教師にサプライズで学年全体から歌のプレゼントがあった	173	卒業式の前日、卒業したくない、先生と別れたくないと言ってくれた生徒とは、今も家族ぐるみで付き合いがある。
174	特別支援学級担任をさせていただいて18年になりますが、そこでは、生徒数としては少ないですが、ひとりひとりと深く関わることができて、私自身が大きく成長させていただいてきました。出会った子供たちはみんな、私の心に残っています。	175	特別支援学校の子供たちは、関わることで、できることが増え、世界が広がります。昔の教え子ですが、なかなか名前を覚えることも、聞き取りやすく話すことも、できませんでした。毎日、毎日、かかわり、名前を繰り返し伝えることで覚えて話すことができました。その日から、覚えた名前の人を呼ぶことができ、それをきくに関わる人が増え、いろいろ話すことができるようになり、その子の世界が広がりました。関わることの大切さ、関わることで伸びていくことを教えてもらいました。	176	とてもヤンチャな子を担任していて、何回もぶつかり合った。暴言を吐かれたり、対教師暴力を振るってくる時も何度もあった。それでも正面からぶつかることをやめずにおもむいた。とことん向き合った。その結果、私がその学校を離任するときに花束をプレゼントしてくれた。卒業式のときも涙を見せなかったその子が涙を流しながら私に花束を渡してくれた。 そのことは一生わすれないだろう。	177	文化祭前、時間が無い中、放課後に毎日残って貼り絵を完成させたこと。いつもはふざけて協力するという事を知らないようなクラスでしたが、短期集中型で、彼らの持つパワーに驚かされました。やればできるということ知らされました。感動しました。
178	私は中学校の教師ですが、教師だからと一丁前に「他人を思いやる心が大切だ！」とか、「人の役に立つ仕事に就くんだぞ！」などと、よく子どもたちに話をしていました。(自分はどれだけの人間かは別にして...) ある日、高校を卒業し警察官となって5年が経つ教え子が相談したいことがあると私を訪ねて来て、「もっと人の役に立とうと考え、レスキュー隊に転職したい。体が動く今しかないんです。先生、警察官を辞めていいですか。」と言った。なんと熱い、なんと真面目な、なんと凄いなやと鳥肌が立ちました。私は、またも一丁前に「よし、思い切ってやって来い！」とエールを送りました。あれから10年くらいが経ちますが、今も第一線で活躍しているようで、毎年、筋肉隆々の上半身を見せつけた写真入りの年賀状が届きます。						